

# 磐田を 知りたい！ 調べたい！

## 磐田の特産物

磐田市内の特産物は、古くは江戸時代から伝わって広まり、改良され、遠州地方の気候に合わせた産業となりました。以下に挙げたものは、現在も引き続き生産されている特産物もありますが、高度経済成長やさまざまな要因で廃れてしまったものもあります。

なぜ、この地方の人たちは、その産業を選んだのか、その歴史をひもとくことも必要です。

### 1. ころ柿 (枯露柿・転柿)

干し柿のこと。名前の由来のひとつとして、柿の全体に日があたるようにコロコロと転がしたことによります。

ころ柿の作り方は、『豊岡村百話』 p 229～を参照

### 2. 海老芋

昭和初期、気子島(けごじま)村で低迷していた養蚕(桑畑)から換金作物へ転作したのが栽培の始まりです。

『豊田町誌 通史編』 p 962

現在、竜洋、豊田、豊岡の各地区にかけて栽培され、全国生産の8割を占めています。

『郷土読本ふるさと竜洋 改訂版』 p 145、『豊岡百話』 p 271、『遠州の地場産業』 p 23

### 3. 甘藷(さつまいも)

明治時代の初め頃、加工食品として甘藷切干(かんしょきりぼし)が大藤で考案されました。戦時中はアルコールの原料にも使われました。

『磐田の産業』 p 65～69、『福田町の歴史』 p 415

### 4. 白ネギ

明治6年(1873)頃、赤池の農家が東京千住地方から種子を入手、栽培したのが始まりとされます。

『静岡県農・林・水産地ガイド』 p 48、『遠州の地場産業』 p 8,9

『豊田町誌 通史編』 p 1148、『郷土読本ふるさと竜洋改訂版』 p 145 ほか

### 5. 養蚕・製糸

明治29年(1896)、広瀬村の天竜川製糸を始めとし、中泉に宮崎製糸が誘致されました。砂地栽培の桑葉が発蛾率を高めるとされ、中瀬村、野部村や広瀬村に桑園が開拓され、天竜川岸の砂地が利用されました。

『磐田の産業』 p 20～25、『豊岡村百話』 p 223、『福田町の歴史』 p 415

### 6. 製材

近世から明治時代にかけて、天竜川上流の信濃からの木材や諸産物の海上輸送の要として、掛塚港が

栄えました。製材業は、掛塚港と盛衰をともにしました。

『磐田の産業』 p 62～64、『天竜川と掛塚湊』、『静岡県木材史』

『郷土読本ふるさと竜洋 改訂版』 p 157～159、『竜洋町史』、『掛塚湊物語』 p 54

## 7. お茶

明治初年、旧幕臣の川手氏や赤松氏により茶園の開墾が行われ、赤松則良（あかまつのりよし）氏らは 20 町歩を開墾しました。明治 10 年（1877）には大藤で 334 町歩の茶園が開墾され、明治 17 年（1884）には、大久保忠利氏（神官）が見付茶業組合を結成しました。

（1 町歩はおおよそ 1 万㎡＝1 ha）

『磐田の産業』 p 48～53、『遠州の地場産業』 p 36, 37

「旧幕臣洋学系知識人の茶園開拓」『国立歴史民俗博物館研究報告 第 108 集』

## 8. 煙草

万治（まんじ）年間（1658～1660）、鎌田で栽培されました。享保（きょうほ）10 年（1725）以降、他地域でも栽培が認められ、幕末には凶作続きで煙草へ転換するものが多くなりました。明治 13 年（1880）には磐田・浜名郡下で在来の鎌田葉が栽培され、遠州葉と呼ばれるようになりました。

鉄道が開通した明治 22 年以降、伊勢・美濃・京都方面へ輸送（搬出）され、見付を中心に加工が行われるようになりました。明治 26 年には中遠煙草営業組合が成立しました。

『磐田の産業』 p 40～47

## 9. 漁業

古くから福田の前浜では地曳き網漁が行われていました。その他近海漁業や製塩業が発達し、この中から、養鰻とシラス煮干の特産を見出しました。

『磐田の産業』 p 54～61

『福田町の歴史』 p 281～285, 417～422、『遠州の地場産業』 p 60, 61、『静岡県の水産』

## 10. 温室メロン

大正年間（1912～1926）、漁業から転業して豊浜村の四青年が温室促成栽培を始めました。その後、栽培技術の向上を図ろうと組合を結成し、今まで PR していたナスやキュウリをスイカ、メロンに変更しました。関東大震災後に高値を呼び、温室栽培技術が向上、発展しました。

『磐田の産業』 p 78～83、『福田町の歴史』 p 283、『遠州の地場産業』 p 26～28

## 11. 別珍・コールテン

明治～大正時代にかけて福田の先覚者らが研究に研究を重ねて、当地方の織物業は発達しました。遠州輸出織物工業組合「天龍社」の統率のもとで一大産地を築きました。

『磐田の産業』 p 70～77、『遠江織物史稿』 p 31～、『遠州の地場産業』 p 72～87

『福田町の歴史』 p 274～439、『福田町史 資料編 V』 p 259～

このほか、詳細にお知りになりたいときには、レファレンス（相談）カウンターまでお尋ねください。